

# 薬学講座質問への回答

10月に行われた薬学講座で、6年生児童や保護者の方からいただいていた質問へ、学校薬剤師倉橋さんが回答してくださいましたので、こちらで紹介いたします。

## 1、電子タバコに害はないですか？

回答：電子タバコは香りや味のついた液体を加熱して発生させた蒸気を吸い込むタイプのもので、日本では法律でニコチンを含ませる事は規制されています。しかし、個人輸入サイトではニコチン含有の商品を入手可能であり、ニコチンを含まない旨の表示がされているものから、ニコチンが検出された事例がある為注意が必要であるとされています。また、日本呼吸器学会では、

- ① 加熱式タバコや電子タバコが産生するエアロゾルには有害成分が含まれており、健康への影響が不明のまま販売されていることは問題である
- ② 加熱式タバコやの喫煙者や電子タバコの使用者の呼気には、有害成分が含まれる事があり、喫煙者、使用者だけでなく、他者にも健康被害を起こす可能性が高い。

との見解を示しています。(令和元年12月11日現在) 静岡県薬剤師会学校保険部資料より抜粋。

今後、見解が変わることがあるかもしれませんが、現状では身体と周囲の人の影響があると考えられています。

## 2、大麻と覚せい剤の違いはなんですか？

回答：大麻は、大麻草を乾燥させた物、又は樹脂状にした物で乱用すると、記憶や学習能力、知覚を変化させます。乱用を続けることにより、「無動機症候群」といって毎日ゴロゴロして何もやる気のない状態や、人格変容、大麻精神病等を引き起こす物です。(厚労省ホームページより抜粋) 覚せい剤は、合成された人工の化学物質で、乱用すると幻覚、妄想が現れ、精神を興奮させる事もあり、精神病になりやすくなる物です。いずれも法律により厳しく制限されています。

## 3、薬剤師になった理由はなんですか？

回答：元々実家が薬局であった事もありますが、「人の体が病気になった時、なぜ薬で治るのか不思議に思い、興味があったから。」というのが大きいと思います。

## 4、市販の薬は年齢によって服用する量が変わりますが、薬局では体重を聞かれます。体格によっても市販の薬の服用を判断した方がいいのでしょうか？

回答：体格が大きくても、肝臓や腎臓の働きが大人並みになるのは15歳が目安とされていますので、市販薬も説明書に書いてある通りの年齢で服用して下さい。

## 5、頓服薬(カロナール等)は以前の処方ものは使えるのでしょうか？(小児科で、前のものが残っていればそれでいいと言われたので)

回答：ご質問の様に主治医の了解を得ているのであれば、服用可能だと思います。但し、処方薬にも使用期限がありますので、期限を処方された医師、又は薬剤師に確認しておいた方が良いでしょう。

